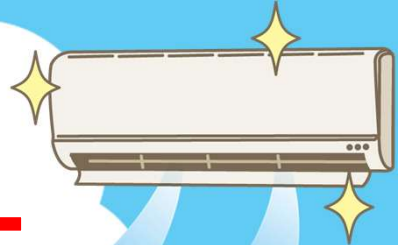


本格的な夏がくる前に



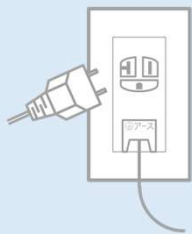
エアコンの試運転を!

シーズン前に試運転をして、不具合がないかをご確認ください!

エアコンは6月の梅雨時期から使い始めるご家庭が多く、7月になると「冷えない」「電源が入らない」といったお問い合わせが集中します。修理になるとお待ちいただくこともございますので快適にお過ごしいただくため、点検項目及び故障時の対応についてご案内いたします。

試運転の方法

① 電源プラグ



- 電源プラグやコンセントに変色や汚れはありませんか?

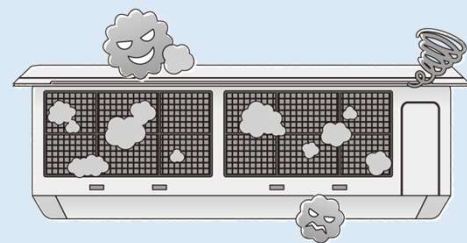
② リモコン



- 液晶は表示されていますか?
- ボタンは正常に反応していますか?
- エアコンの電源は入りますか?
- 電池切れ、液漏れしていませんか?

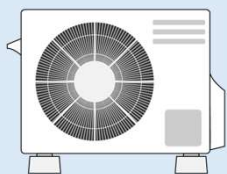
⚠ 電池切れの場合、入居者様にて交換をお願いいたします。

③ フィルター



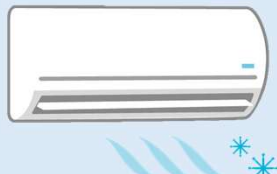
- ホコリ・ゴミは溜まっていませんか?
- 破れや破損はありませんか?

④ 室外機



- 異音はありませんか?
- 室外機の上や横に物を置いて通気口が塞がれていませんか?
- 室外機の周りに落ち葉・ゴミ等障害物はありませんか?

⑤ 本体の動作確認



- 冷房モードに切り替えますか?
- 室内機に破損変形はありませんか?
- 風向きルーバーは正常に動いていますか?

⑥ 正常運転の確認



- 室内機から異音や水漏れはありませんか?
- ドレンホース(排水)のつまりや漏れはありませんか?

⚠ 故障かな?と思ったら・・・

エアコンに不具合・故障が発生した場合、**ブレーカーの上げ下げを行いリセット作業をお試しください。**

↓ 改善しない場合 ↓

速やかに、弊社HPのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

ご連絡の際、**「メーカー」「年式」「型番」「不具合症状」の記載**をお願いいたします。

※ 但し、以下の点について予めご了承くださいませよう願いたします。

- ・修理業者の手配には、数日～1週間程度のお時間をいただく場合があります。
 - ・6月末～9月中旬は同様の問い合わせが多く見込まれる為、通常より対応に時間がかかる可能性があります。
 - ・本体交換や部品の取り寄せが必要な場合、復旧までさらに日数を要することがございます。
 - ・有償でのエアコンクリーニングを承っております。ご希望の際はお問い合わせフォームよりご連絡下さい。
- 皆さまにはご不便をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解・ご協力の程、よろしく願いたします。

エアコンフィルター清掃の方法

エアコンのフィルターを掃除しないまま使い続けると、効きが悪くなったりカビ臭の原因になることもあります。さらにカビの繁殖が進むと、カビの胞子がアレルギーとなって健康に被害を及ぼすこともあります。そのため、エアコンを快適に使うためには、フィルターを定期的に掃除することが大切です！

① 下準備

エアコンの下に新聞紙やポリ袋を敷いてホコリをキャッチします。



② 掃除機をかける

フィルターを取り外す前に掃除機をかけてください。



③ フィルターを外す

エアコン本体からフィルターを外してください。



フィルターは破れやすい為、力加減に注意してください。

④ 水洗いする

フィルターを浴室などで丸洗いしていきます。フィルターの裏面から水をかけると洗い流しやすいです。



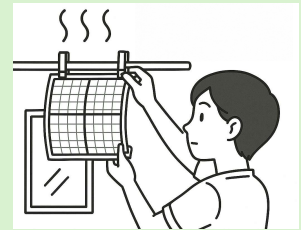
⑤ 洗剤で洗う

色素沈着やニオイが気になる時は水で薄めた中性洗剤をかけて、スポンジや歯ブラシで優しく汚れを落としてください。



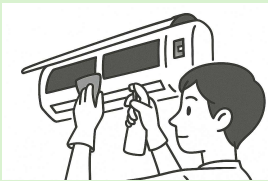
⑥ 乾燥させる

清潔なタオルでフィルターを挟むようにして水気を拭き取り、日陰干しでしっかり乾燥させてください。



⑦ 本体を掃除する

乾かしている間、本体のホコリを掃除機で吸ったり熱交換器が汚れていないかチェックしたり濡れ雑巾で拭いたりしてください。

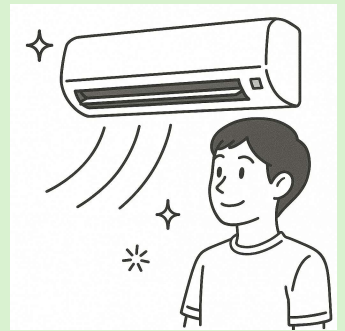


⑧ セットする

フィルターが乾燥したら本体にセットします。



⑨ 清掃完了



⚠ エアコンのフィルターを掃除する際の注意点

① 掃除前に必ずエアコンの電源プラグを抜く

電気系統に水がかかるとショートや腐食の原因になることがあります。種類によっては、フタの内部に電気系統が配備されていることもある為、スプレー型の洗浄液を使用する場合は電気系統にスプレーがかからないよう十分に注意して掃除してください！

② フィルターの網目を崩さないようにする

網目が崩れると使用中に異音が発生したり故障の原因になることもあります。汚れやホコリを落とす時は強くこすらないよう力加減に注意しましょう！

③ フィルターをしっかり乾かしてからエアコンに戻す

水に濡れると故障の原因になることもあり、最悪の場合、発火する恐れもあります。洗ったフィルターは完全に乾いてからエアコンに戻すようにしてください！